

ザンビア通信 vol.1

青年海外協力隊 平成 22 年度 3 次隊
ザンビア 理数科教師 金田直己

私の活動拠点であるカピジンパンガ小中学校はザンビアの首都ルサカから約 580km 離れた北西部州の州都ソルウェジの街の中心部から更に約 20km 離れたカピジンパンガ村の中にあります。ザンビアの学校は小中一貫校がほとんどで、Grade1~7 の lower basic と Grade8,9 の upper basic に分かれています。学年の配分こそ違いますがトータルで通う年数は日本と一緒です。私の学校は規模が小さく各学年 1 クラスずつしかありません。

私のようなボランティアが行く学校は教師の数が不足しています。私が所属している upper basic には 4 人の教師しか居ません。



この 4 人の中には校長先生も含まれていて、それぞれの教師が教科を掛け持ちで授業をしています。私は Grade8 の数学と理科を担当しています。近いうちに Grade9 の理科も担当することになりそうです。現在 Grade8 は約 40 人、Grade9 は約 60 人の生徒がいます。また、私は Grade8 の担任もしています。

生活の方はというと、学校の敷地内に教員用住宅があります。そこで私は同僚教師と家をシェアして住んでいます。もちろん部屋は別々です。ライフラインは、電気はありますが水道はありません。水は井戸から汲んできます。井戸も学校の敷地の中にあります。夕方の水汲みが日課になっています。

水道が無いのでトイレも水洗ではなく、シャワーもありません。家の外にトイレと風呂用の小屋があります。(下の写真の右側がトイレで左側がバスルームです。) トイレはいわゆる「穴」で、風呂は桶にお湯を入れ行水します。最初はどうかと思いましたがすぐに慣れました。



むしろ今では水廻りが無い分こっちのほうが清潔ではないかと思うようにもなりました。また、ザンビアの水道のある地域ではしばしば断水するケースがあるのですが井戸生活ではその心配はありません。もし井戸が枯れたら・・・と心配するかもしれませんが近年では枯れたことは無いみたいです。



今の時期は雨季(11月～4月)にあたりほぼ毎日雨が降ります。日本の梅雨のように1日中降り続くことはありませんが、雷も多く時折停電します。その時は木炭を使って料理をします。

電気があるのはまだ良い方で、学校の周りの家には電気・水道両方ありません。ちなみに街には電気・水道ともに完備されている住宅が増えています。

ザンビアでは固定電話ではなく携帯電話が広く普及しています。しかし、この辺りは携帯電話の電波の入りがとても悪く、特に自室ではほとんど電波は無く屋外の電波をキャッチ出来るポイントに出て通話をする状況です。ザンビアのインターネットは携帯電話の回線を利用するダイヤルアップ接続が主流のため、電波状況の悪いこの地域ではインターネットはほぼ出来ません。街に行った時にやるしかありません。

北西部州にはカンサンシマインという有名な銅山があります。最近ではこの影響で他地域からの人の流入が盛んで人口がとても増えてきています。欧米人や中国人の姿も目にします。街で知らない人から「銅山の調子はどうだ？」と声を掛けられますが、もちろん知りません。この街に居る外国人は銅山関係で働いている人が大半です。銅山以外の目立った産業はこの地にはありません。



この州の名産品はパイナップルです。もう時期は終わってしまいましたがシーズンの時には街のあちこちで売っているみたいです。まだ食べたことはないので次の機会に食べてみようと思っています。

Vol.2 に続く。